

# ホール企業7社が参加 パック・エックスが合同説明会



ホール企業のブースでは、さまざまな説明方法で学生たちにアピールした



セミナーを受講する学生たち

パチンコ業界に特化した人材採用支援事業を展開するパック・エックスは2月5日、東京都渋谷区の「アクセス青山フौरラム」で、2019年度の新卒生を対象としたホール企業の合同説明会「アミューズメントサミット2019」を開催した。

合同説明会は、2014年から毎年10回程度、催しているもので、今回は、ウエスタンコーポレーション、コンチエルト、五月女総合プロダクト、ジョイパック、ベガスベガス、マタハリ、メッセの7社が出展。参加した34人の学生たちに、会社概要や企業の特徴をPRした。

東京会場で行われる際には、必ずブースを出すという、茨城栃木、群馬にビックマーチなどの屋号で26店舗を展開するジョ

イパックの人事担当者は、「新卒採用は年々、厳しくなっている。ほかの合同説明会だと、他業種の採用熱も高く、ブースに学生を呼び込むのにも一苦労。それに比べてこの会だと、ある程度、業界の説明を受けているので、話しがしやすい」と同説明会を評価。

関東や東北などに、コンサートホールの屋号で22店舗を構えるコンチエルトの人事担当者は、「本日参加した学生から、説明会や選考に参加したいという声を多数もらっている。今回で4回目の参加となるが、毎回、この説明会がきっかけで、選考に來てもらっている学生がいるので、今後も参加したい」と述べた。

ほかにも、参加企業から、「女性でも働きやすい環境をアピールすることができた」「他事業展開していることを話すと、多くの学生が関心を持ってくれる」などの声がある。

また、合同説明会の前には、パック・エックスの新卒採用支援チームの阿部美沙子統括リーダーらによる、就活セミナーも行われ、アミューズメント業界の紹介や就職に役立つテクニックなどを講義。



阿部統括リーダー

阿部統括リーダーは、「企業は多大なお金をかけて採用するので、どのように教育すれば、どう成長し、どう自社に貢献してくれるかを、できるだけ明確にしたいと考えている。自分自身の強みと弱み、行動特性を理解し、それを伝えていくスキルを身につけてほしい」とレクチャー。

自分の強みを一つ挙げた上で、その強みを交えたエピソードをパートナーに伝え、フィードバックしてもらおう練習も行った。

学生からは、「パチンコ業界のイメージが変わった。インターンシップに参加してみようと思う」「パチンコ業界に興味はなかったが、給与面や福利厚生の充実など、興味がわいてきた」などの感想が上がった。

なお、同サミットは、同日を皮切りに、東京、仙台、大阪、名古屋、福岡で計10回開かれる（3月12日まで）。